



こうせい

～ 関わった人みんなを幸せに ～

医療法人 甲聖会
甲聖会記念病院

2025 Vol.1

医療法人甲聖会 理事長 かいぬま まさや 甲斐沼 孟

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆様方におかれましては、平素より、医療法人甲聖会の運営に多大なるご高配を賜りまして、深く御礼申し上げます。

私たちは、地域の方々が生きてきた場所で、いつまでも健康的に生き生きと暮らし続けていただけよう、地域に根差した医療体制を展開しております。

昨今では、特に医療や介護における社会的な需要やニーズは高まり、医療の中心的な本質は「病気を完治させる医療」から「病気と共存するための医療」へと変容しております。

近年、地域医療構想や診療報酬改定で示唆されているように、それぞれの地域に応じて、バランスの優れた医療機能の分化と連携を推進することが推奨されています。

当院においても、地域包括ケアシステムを支える入院病床の整備や在宅訪問診療の充実、外来健診部門の拡充などを図っていくことが重要であると考えられます。

患者様お一人おひとりの健康状態や社会的な日常背景を十分に把握して、ご家族の皆様にも真摯に寄り添って、地域の方々に安心してもらえるように、全職員が一致団結して、質が高く適切な医療提供体制を構築していく必要があります。

今後、明るい未来を切り拓いていくために、現状以上に法人組織力や病院機能を強化して、地域に密着した適切な経営・運営を実践します。

医療法人甲聖会は、社会情勢に応じて、良質な医療・看護・介護を提供して、地域社会に益々貢献できるように、その使命を全うします。

今後とも、温かいご高配・ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

2025 年患者サービス委員会



電子処方箋がご利用できるようになりました

2023年1月から始まった「電子処方箋」は、政府が進める医療DXの第2弾の政策です。当院でも準備をすすめ、9月20日から電子処方箋の運用開始することとなりました。

9月20日時点ではまだ吹田市内の病院では電子処方箋を開始した病院はなく、当院が初めて電子処方箋を導入した病院となりました。

電子処方箋はこれまで紙で発行していた処方箋を電子化することで、医療機関・薬局をまたいだ処方薬の一元管理が可能となり、重複投与や相互禁忌などが行えるようになります。

これまでの処方箋とは少し異なりますがご了承くださいたくおもいます。

通常引換券番号付処方箋をお渡ししますが、電子処方箋を希望される患者様は受付もしくは診察室で電子処方箋希望とお伝えください。

引換券番号付処方箋の代わりに電子処方箋控えが渡されます。



1. 診察室で医師に「電子処方箋を希望します」とお伝えください。
※通常「電子処方箋対応の引換番号付き処方箋」が発行されます。
2. 電子処方箋をご希望した場合、診察終了後、「電子処方箋対応の引換番号付き処方箋」の代わりに「処方内容（控え）」を渡されますので電子処方箋対応薬局へご持参ください。
※会計時にご希望の調剤薬局にFAXしておくと、受け取りがスムーズになります。
※電子処方箋対応の引換番号付き処方箋はすべての調剤薬局で対応可能です。
ご利用お待ちしております。

電子処方箋で発行される
処方箋控え

通常当院で発行する
電子処方箋対応引換番号付き処方箋

これまでと同じ処方箋

外国人技能実習生の受け入れ



この度、ミャンマーから外国人技能実習生の受け入れをすることとなりました。これまで外国人としてはチェリー・トンさんが病棟のケアスタッフさんとして働いていただいておりますが今回、チェリー・トンさんと同郷の外国人技能実習生を受け入れさせていただくこととなりました。

外国人技能実習生は2名

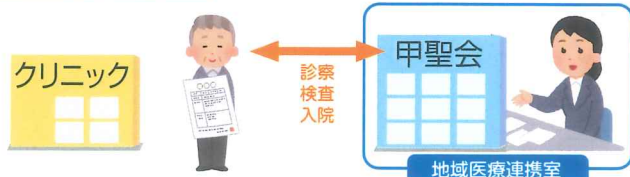
一人はヤ・ミン・サンダーさん(左)、もう一人はティリ・ゾーさん(右)です。まだまだ日本語が不慣れですが、皆様仲良くしていただきたく思います。二人には、日本の良さを母国にアピールしていただき、日本の文化や医療、介護等に関して学んでいただきたいと思ひます。皆様、よろしくお祈りします。

近隣市区の「地域医療・介護・福祉のKeyStation」として

地域の医療機関や関係機関との効率的な連携を図り、患者様が安心して医療が受けられるお手伝いをします。当院では近隣病院やクリニック介護事業所、当院訪問診療と連携しご紹介いただきました患者様に対して様々な調整を行います。“地域医療連携室職員”が地域に根ざした「医療・介護・福祉」をご提案します。

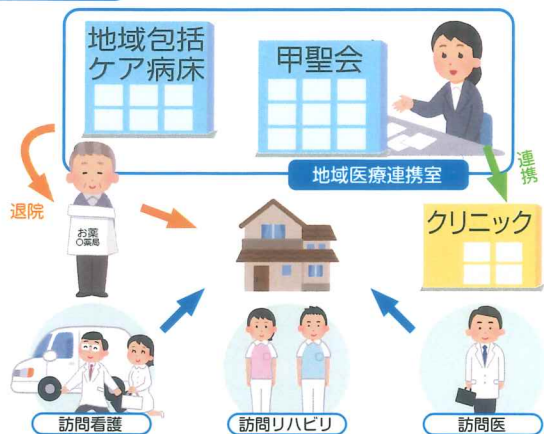
医療ソーシャルワーカー：4名
(内)看護師：1名

1 診察・検査・入院調整 ● 病院・クリニック等からの紹介・逆紹介



- ・紹介元機関との連絡調整（病院施設、事業所 etc）
- ・退院後の支援（在宅復帰・生活支援における他機関との連携）
- ・他院受診時の予約調整
- ・生活費や医療費に関する相談
- ・介護保険に関する説明

2 退院調整 ● 在宅サービスの調整、転院の調整、病院・クリニック等への逆紹介



● 病棟での役割

・地域包括ケア病床

入院期間が原則最長 60 日にて在宅復帰（退院後、自宅または施設）に向けて院内外で関係機関との連携を取り、患者様やご家族様のサポートをさせていただきます。

・療養型病床

入院期間は半年をめどにしていますが、患者様の状態に応じて主治医が判断します。患者様やご家族様と相談し、他院への転院や、自宅や施設などの退院のサポートを行います。

消防・防災避難訓練

11月13日（水）15:00 から消防・防災避難訓練を実施いたしました。

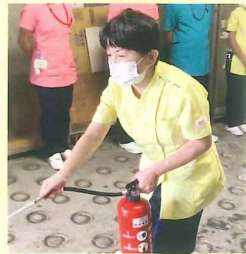
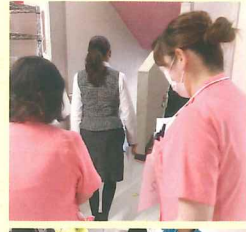
エアーストレッチャー

まず、事前研修としてエアーストレッチャーの使用方法を勉強し、一人で動けない患者さんを安全に搬送する方法をメーカーさんよりレクチャーしていただきました。

消防訓練のストーリーは

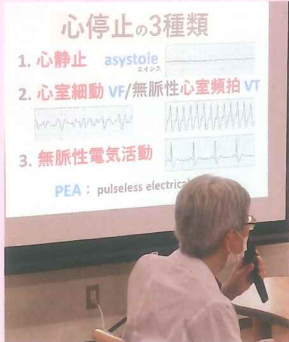
- ① 3階病棟ナースステーションから出火。
非常ベルが鳴る
- ② 初期消火の依頼をする。
各階に設置している消火器を持って火元を消火する
- ③ 火の勢いが収まらず、「119」番に連絡するよう病棟から受付へ連絡
院内放送で入院患者さんの搬送を指示
 - 1) 歩ける患者さんは看護師付き添いのもと搬送
 - 2) 歩けない患者さんはエアーストレッチャーにて搬送を行う。
- ④ 各部署リーダーは院長先生へ避難完了の連絡を行う
- ⑤ 火災も鎮火し訓練終了

最後に水消火器で初期消火の訓練で終了です。



蘇生の勉強会

9月5日及び9月18日に当院全職員対象の蘇生の勉強会を行いました。はじめに当院副院長がプロジェクターを用いて行う座学の勉強会を実施し、心肺蘇生が必要な患者さんが、どのような症状(状態)になるかやAEDの使い方などを教えていただきました。また、心肺蘇生の訓練用人形を用いた実地訓練を行い実際に心臓マッサージやAED、アンビューバッグによる人工呼吸など、本番を想定した訓練を実施。全ての職員が患者様・家族様等、急変時に対応できるように訓練を実施いたしました。



診療科目

内科

呼吸器内科

循環器内科

神経内科

糖尿病内科

皮膚科

外科

整形外科

リハビリテーション科

放射線科

外来診察のご案内

	月	火	水	木	金
内科 午前診	●	●	●	●	●
内科 午後診		●			
呼吸器内科	金…午前診				
神経内科	木…午前診				
整形外科	水…午前診				
皮膚科	木(第2・第4)…午後診				
訪問診療	新規診療も可能ですので、ご相談ください。				

診察時間 午前診察 9:00 ~ 12:00
午後診察 13:00 ~ 16:00

受付終了時間につきましては、診療終了時間の30分前となります。土曜日の診療・内科午後予約診(月、水、木、金)はなくなりました。

訪問診療

訪問日	月	火	水	木	金
	●	●	●	●	●

在宅での診療・看護が必要な方のご自宅や施設に、医師・看護師が定期的に訪問して診療します。

新規診療も可能です。ご相談ください。

各種健康診断・労災二次健診も受付しております

健康診断

「各種健康診断のご予約を受付しております」

地元企業様、地域の皆様の定期健康診断、生活習慣予防健診特定健診を実施しています。またCT検査や超音波検査などのオプション検査も多数そろえています。皆様の健康管理に当院をご利用ください。



大阪メトロ御堂筋線「江坂」駅
⑧番出口より
西(東急ハンズ側)へ徒歩4分
※専用駐車場はございません。
近隣に、コインパーキング有(有料)



医療法人 甲聖会
甲聖会記念病院

〒564-0053 吹田市江の木町7番1号
TEL 06-6380-0666 FAX 06-6380-0736
ホームページ <https://koseikaihospital.com/>

